



▲はしご車乗車

内容 消防士が火災現場で着装する
性 18歳以上の女性
対象 町内にお勤めか、お住まいの18歳以上の女性
場所 丹羽広域事務組合消防本部
日時 3月3日(月) 午前9時から午後3時30分まで



▲消防車からの放水訓練

「一日女性消防士」募集!

女性の皆さんに防火意識をより高めていただき、防火の輪を広げてもらうため、春季火災予防運動に合わせ実施します。この機会に、あなたも一日消防士のお仕事を体験してみませんか?



防火衣を着て、放水体験やはしご車体験、119番通報を受信する尾張中北消防指令センターの見学をおこないます。
※昼食は消防本部で用意します。

募集人員 10名(先着順)

申込み期間 2月3日(月)から14日(金) 午前9時から午後5時まで(土・日・祝日は除く)

申込みおよび問合せ先 丹羽広域事務組合消防本部 予防課

☎95-5158



「普通救命講習会」

日時 2月15日(土)

午前9時30分から正午

場所 丹羽消防署 扶桑出張所
申込みおよび問合せ先

丹羽消防署本署 ☎95-5151

大口出張所 ☎95-0119

高齢者と障がい児・者の総合相談窓口

大口町地域包括支援センター便り



安心して暮らせる地域をめざして

近年、高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯が年々増えてきています。

地域の見守り・支え合いとは、近所に住む人を見守る事やお互いに支援をし合うことです。

例えば、散歩しながらすれ違った人に挨拶をしたり、困っている人を見かけたら声をかけてみるなど、一見さりげないことが、安心して暮らせる地域づくりにつながります。



現在、各地域自治組織等が中心となって、散歩など日常生活のなかでのさりげない見守りで、お互いに支え合う体制づくりが進められています。地域独自でリーフレットやステッカー等を作成し、玄関などの見える所に貼るなど、見守り活動が少しずつ広がっています。

まずは自分の地域の小さな変化に気づくところから始めま

しょう。家の近所に見守りが必要な人がいないかをご家族で話し合ってみましょう。

例えば、

▽1人暮らしの高齢者で、あまり地域との交流がない。

▽郵便物等がたまった状態になっている。

▽家の中や周りにいろいろな物が置きっぱなしになっているなどです。



一方、自分が見守りが必要と思う方は、近所に住む人に緊急時の連絡先やかかりつけの病院の情報等を伝えておくか、普段からわかりやすい場所に貼っておくなどの工夫をしておく
と良いでしょう。



地域包括支援センターでは、地域にお住まいの方の日常生活の困りごとや悩みの相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

問合せ先

地域包括支援センター

☎94-2227